

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	Sauereisen DKS-8 Cement
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

1.2 当該物質または混合物の記載されている重要用途および

指導対象の用途

記載されている用途	PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)
~ に対して助言された用途	知られていない。

1.3 安全性データシート供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887
CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC) 供給/使用に対して危険物に分類されていない。

2.2 表示要素

欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば

製品名	Sauereisen DKS-8 Cement
危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
注意喚起語	割り当てられていない。
危険有害性情報	割り当てられていない。
危険有害性情報	割り当てられていない。

改訂: 2.0 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

追加情報

なし。

2.3 他の危険有害性

空気中で引火性の粉じん雲が生成されることがある。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.2 混合物

EC 分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
Zirconium silicate	< 78	14940-68-2	14940-68-2	割り当てられていない。	分類されていない。
Magnesium hydrogenphosphate	< 18	1308-38-9	231-823-5	割り当てられていない。	分類されていない。
Magnesium oxide	<15	1309-48-4	215-171-9	割り当てられていない。	分類されていない。
Crystalline silica	< 1	14808-60-7	238-878-4	割り当てられていない。	特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1; H372

H372: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚接触

固着していない粒子を皮膚から払い落とす。水でよく手を洗うこと。刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

まぶたを開けた状態で洗眼液または清潔な水で目を洗い、粒子を取り除く。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

口をすすぐ。無理に吐かせない。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

改訂: 2.0 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

- | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------|
| 4.2 | 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性) | 気道の機械的刺激。皮膚および眼の機械的刺激。 |
| 4.3 | 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態 | 必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。 |

5. セクション 5: 火災時の措置

- | | | |
|-----|------------------------------|--|
| 5.1 | 消火剤 | |
| | 適切な消火剤 | 炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。 |
| | 不適切な消火剤 | ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。 |
| 5.2 | 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 | 空気中で引火性の粉じん雲が生成されることがある。 |
| 5.3 | 消防士へのアドバイス | 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。 |

6. セクション 6: 漏出時の措置

- | | | |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|
| 6.1 | 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 | 必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 粉塵の吸入を避ける。 |
| 6.2 | 環境的予防措置 | 環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
| 6.3 | 封じ込めと清掃のための方法および資材 | 粉じんを発生させないように流出物を掃除する。廃棄用の容器に移す。 |
| 6.4 | 他のセクションの参照先 | 次の項を参照: 8, 13 |

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- | | | |
|-----|-------------------------------|--|
| 7.1 | 安全な取り扱いのための注意事項 | 粉塵の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。適切な換気を確認する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。静電気放電に対する予防措置を講ずる。 |
| 7.2 | 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) | 換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。容器を閉じておくこと。 |
| | 保管温度 | 常温の。 |
| | 保管期間 | 普通の状態安定。 |
| | 混触危険物質 | 知られていない。 |
| 7.3 | 具体的最終用途 | PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)。次の項を参照: 1.2 |

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- | | | |
|-------|----------------|-----------|
| 8.1 | 管理指標 | |
| 8.1.1 | 職業暴露限度 | 確立されていない。 |
| 8.1.2 | 生物学的限界値 | 確立されていない。 |

8.1.3 PNEC および DNEL	確立されていない。
8.2 暴露管理	
8.2.1 適切な工学的管理	適切な換気を確保する。または 適切な封じ込めを行うこと。
8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置	化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵を吸入してはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。
目/顔面の保護	側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。コンタクトレンズは着用しないでください。
	
皮膚の保護	手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。推奨: ネオプレン。または ブチルゴム。
	
呼吸器の保護	工程に粉じんまたは蒸気が発生するような場所での作業が含まれる場合、適切な呼吸用保護具を着用する。フィルタタイプP(EN143またはEN405)の適切な防塵マスクまたは防塵呼吸器が適当と思われる。
	
熱の危険性	該当なし。
8.2.3 環境暴露コントロール	環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	白色から黄褐色の粉体
におい	無臭。
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	該当なし。
初留点と沸騰範囲	該当なし。
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	4.5 (H2O=1)

改訂: 2.0 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

溶解度	該当なし。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報 揮発性有機化合物含有量 (%) : 0

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	有害な重合は起こりません。
10.4 避けるべき条件	粉じんの発生を避ける。
10.5 混触危険物質	知られていない。
10.6 危険有害性分解生成物	知られていない。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

急性毒性

摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 5 mg/l。

皮膚接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

皮膚腐食性/刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖細胞変異原性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

発がん性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (単回暴露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (反復暴露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

吸引性呼吸器有害性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

11.2 その他の情報

なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 >100 mg/l (魚類)
12.2	残留性および分解性	この製品が土壌中で生分解性されることを示す証拠はない。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4	土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	法律に従い、前処理後にしかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
13.2	追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

		ADR/RID / IMDG / IATA
14.1	国連番号	運送時に危険物として分類されていない。
14.2	UN 適切な船積み名	分類されていない。
14.3	輸送危険分類	分類されていない。
14.4	輸送危険分類	分類されていない。
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない / 環境的に有害な物質
14.6	使用者に対する特別な注意事項	該当なし。
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した バルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。.

15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および 環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制 高懸念物質 (SVHCs)	なし。.
15.1.2	国の規制 Wassergefahrdungsklasse(ドイツ)	水質危険クラス : 1
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS), 既存の ECHA 登録 Magnesium hydrogen phosphate (CAS 番号 7757-86-0) と以下の分類・表示インベントリ Zirconium silicate (CAS 番号 14940-68-2), Magnesium oxide (CAS 番号 1309-48-4) と Crystalline silica (CAS 番号 14808-60-7).

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS)の付録

利用可能な情報なし。